



成隣だより

平成27年 5月 1日
第 2 号
昭島市立成隣小学校
校長 長野 基

教えるから育つ

校長 長野 基

雨続きの4月も、連休に向けて天候が回復し、空も風も太陽も気持ちいい季節となりました。始業式の頃は桜だけが目立ちましたが、今はどの木も新緑でまぶしい限りです。校庭のシンボルである榲もいつの間にか葉が繁り、日差しが強い日には校庭に涼しげな日陰を作ってくれています。休み時間には、青空を待ち望んでいた子供たちの声が響き渡っています。

さて、5月になりました。2日は八十八夜（立春から数えて88日目）で、夏が待ち遠しいところです。3日は憲法記念日、4日はみどりの日、5日はこどもの日という祝日。また、10日（第2日曜日）は母の日、15日は沖縄返還の日、31日は世界禁煙デー。一年中、毎日何かの記念日になっていますが、連休に家族で祝日や記念日の意味を話題にするのもいいかと思えます。せっかくですから話題を一つ提供します。「こどもの日になぜ柏餅を食べるのか。」ご存じでしょうか？柏という木は落葉樹ですが、秋に枯れた葉が春に新芽がでるまで落ちないので、『家系が途絶えない』縁起物として、柏の葉で餅を包むようになったそうです。子供の健やかな成長を願う「こどもの日」にはもってこいの食べ物になったようです。

こんなことを家族で話題にすると、子供は家庭とか先祖とかの意識ももつのではないのでしょうか。何も話題にしないで「美味しいね。」だけ言って柏餅を食べるのではもったいないですね。

もう一つ考えてみてください。『子供を悪くする三つの方法』というものがあります。

一つ目は、「子供の前で近所の人に挨拶をしない」という方法です。

近所の人だけでなく、知っている人にも挨拶しないようにすれば、子供は間違いなく陰気で礼儀知らずの人間に近付いて行きます。

二つ目は、「家の中で手伝いをさせない」という方法です。

家でみんなが働いているのに、遊んでいても平気でいられるようにするのは、そうすれば子供は学校でもそうするので、自然と周りから信用を失い最後にはひとりぼっちになります。

三つ目は「子供の前で、子供の友達や近所の人、先生の悪口を言う」という方法です。

親が悪く言っている人のことは、その人がどんなに素晴らしい人でも、子供の心には悪くしか映らないのです。

この三つの方法を、ご家庭で日々実践していただければ、確実に子供は悪くなります。このようなことを実践するご家庭はないかと思えますが、子供にとって親の言うことややるのがすべてお手本になるということをお腹いっぱいですが改めて意識しましょう。なぜならば、子供がこの世で初めて出会う大人は親だからですね。

親として、大人として、人生の先輩として、私たちは子供たちに正しいことを教えることが務めです。きちんと**教**えれば子供は真っ直ぐに**育**ちます。それを教育というのです。

正しい判断力がなく、正しい行動が取れないのは、成長過程の子供たちであれば当たり前なのでしょう。成隣の子供たちは純粹です。親として、地域として、学校として、いろいろな立場でいろいろな角度から**教**えていきましょう。必ず真っ直ぐ**育**つはず。教育は人なり。